

令和二年度 家庭科 1学年 年間指導計画・評価計画

1 教科目標

衣食住などに関する実践的・体験的な学習活動を通して、生活の自立に必要な基礎的・基本的な知識及び技術を習得するとともに、家庭の機能について理解を深め、これからの生活を展望して、課題をもって生活をよりよくしようとする能力と態度を育てる。

2 評価の観点及びその趣旨

- ・生活や技術への関心・意欲・態度・・・衣食住や家族の生活などについて関心をもち、これからの生活を展望して家庭生活をよりよくするために進んで実践しようとする。
- ・生活を工夫し創造する能力・・・衣食住や家族の生活などについて見直し、課題を見付け、その解決を目指して家庭生活をよりよくするために工夫し創造している。
- ・生活の技能・・・生活の自立に必要な衣食住や家族の生活などに関する基礎的・基本的な技術を身に付けている。
- ・生活や技術についての知識・理解・・・家庭の基本的な機能について理解し、生活の自立に必要な衣食住や家族の生活などに関する基礎的・基本的な知識を身に付けている。

3 各学年の目標

- ・衣服の手入れができる。
- ・食事の役割について理解し、毎日の食生活に関心をもち。
- ・身近な食品の栄養的な特徴を知る。
- ・住まい方の工夫ができる。

4 指導計画・評価計画表

月	指導計画	評価規準	評価方法
		(関) 生活や技術への関心・意欲・態度 (工) 生活を工夫し創造する能力 (技) 生活の技能 (知) 生活や技術についての知識・理解	
6月	1 私たちの家族・家庭と地域（2時間扱い） ・自分の成長を振り返り、自分の成長や生活は家族やそれにかかわる人々に支えられていることに気付く。 ・家庭、学校、地域での生活を振り返るとともに、小学校の学習内容や習得した知識と技術について確認する。 ・中学校での学習内容に興味をもち、3学年間の学習の見通しをもつ。 ・今の自分ができることを点検することを通して課題を見つけ、3年後の自分をイメージする。	・小学校の学習を振り返り、中学校3学年間の見通しをもって学習に取り組もうとしている。（関） ・自分の成長や生活は家族やそれにかかわる人々に支えられてきたことに気付いている。（関）	・ワークノート記述
6月 7	2 食生活と自立 (1) 健康と食生活（9時間扱い） ・食生活を点検し、課題を見付ける。	・自分の食生活を点検し、課題を見付け、健康によい食習慣などについて考え、工夫している。（工） ・食事の役割や健康によい食習慣の重要性について理解している。（知）	・ワークノート記述 ・口頭発表

月	<ul style="list-style-type: none"> ・食事の役割についてまとめる。 ・心身の健康によい食習慣について考える。 ・栄養素の種類と働きについてまとめる。 ・体内での水の働きをまとめる。 ・中学生に必要な栄養の特徴について考える。 ・中学生に必要な栄養を満たす1日分の献立を考える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の食生活に関心を持ち、健康によい食習慣を日常生活で実践しようとしている。(工) ・栄養素の種類と働きについて理解している。(知) ・中学生に必要な栄養の特徴について関心を持ち、自分の食事とかかわらせて考えようとしている。(関) ・中学生に必要な栄養の特徴について理解している。(知) ・中学生の1日分の献立について課題を見付け、必要な栄養を満たすために料理や食品の組み合わせについて考え、工夫している。(工) 	<ul style="list-style-type: none"> ・小テスト ・定期考査
9月10月	<p>(2) 食品の選択と保存(6時間扱い)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生鮮食品や加工食品の特徴と品質の見分け方を知る。 ・食品を選択する観点について知る。 ・食品の表示について調べ、まとめる。 ・食品添加物について理解する。 ・食品のさまざまな保存方法を知る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・生鮮食品や加工食品の表示の意味と良否の見分け方について理解している。(知) ・食品の選択における観点について理解している。(知) ・身近な食品を選択するために必要な情報を収集・整理することができる。(技) ・用途に応じた食品の選択について、収集・整理した情報を活用して考え、工夫している。(工) 	<p>ワークノート記述</p> <ul style="list-style-type: none"> ・口頭発表 ・小テスト ・定期考査
10月11月	<p>3 衣生活と自立(9時間扱い)</p> <p>(1) 日常着の活用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・衣服の目的に応じた着方や個性を生かした着方を考えながら、衣服の働きをまとめる。 <p>(2) 日常着の手入れ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・衣服調べをして、必要な衣服の数量を把握し、過不足や処分の仕方を考える。 ・手もちの衣服の活用を考えながら、表示や縫製の良否手入れの方法や価格など、既製服の選択方法を知る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・衣服の着用、選択、手入れについて関心を持ち、衣生活をよりよくしようとしている。(関) ・目的に応じた着方を考え、工夫している。(工) ・自分らしい着方を工夫している。(工) ・既製服を選択するための情報を収集・整理することができる。(技) ・目的に応じた衣服の適切な選択について考え、工夫している。(工) ・衣服の材料や状態に応じた日常着の手入れに関心を持ち、洗濯や補修の課題に取り組もうとしている。(技) ・衣服の材料や状態に応じた洗濯ができる。(技) ・衣服の活用や管理について、自分なりに工夫している。(工) 	<p>ワークノート記述</p> <ul style="list-style-type: none"> ・口頭発表 ・小テスト ・定期考査

1 1 月 1 2 月 1 月 2 月 3 月	4 住生活と自立（9時間扱い） (1)住まいのはたらき ・住まいの役割や基本的な機能について考える。 ・自分や家族の生活と住まい方とのかかわりを考える。 (2)健康で安全な住まい ・家庭内事故とその原因について知り，安全に住むために改善の方法を考える。 ・健康で快適な室内環境の条件を知り，改善の方法を考える。 (3)住まいと地域 ・災害への備えの必要性がわかり，住まいや地域における工夫を考える。 ・家族が安全で快適に住むための室内環境について課題を見つけ，改善の方法を考える。	・さまざまな住まいを知り，住まいに関心を持ち，住生活をよりよくしようとしている。（関） ・住まいの役割や基本的な機能について理解している。（知） ・自分や家族の住空間と生活行為とのかかわりについて関心をもっている。（関） ・安全な室内環境に関心を持ち，整え方や住まい方の課題に取り組もうとしている。（関） ・安全な室内環境になるよう，安全管理の方法を理解している。（知） ・健康で快適な室内環境に関心を持ち，整え方や住まい方の課題に取り組もうとしている。（関） ・健康で快適な室内環境の条件を理解している。（知） ・地域とつながる視点から安全で快適な住まい方について意見をまとめることができる。（技） ・家族が安全で快適に住むための室内環境について課題を見付け，改善の方法を考える。（工）	・ワークノート記述 ・レポートの作成 ・口頭発表 ・定期考査
--	---	--	---